

# ジャパンスポーツキャスティング連盟競技ルール

ジャパンスポーツキャスティング連盟が実施する競技は、次のルールによって行う。

## 1 コート

競技は必ず規定のコートを設けて行わなければならない。

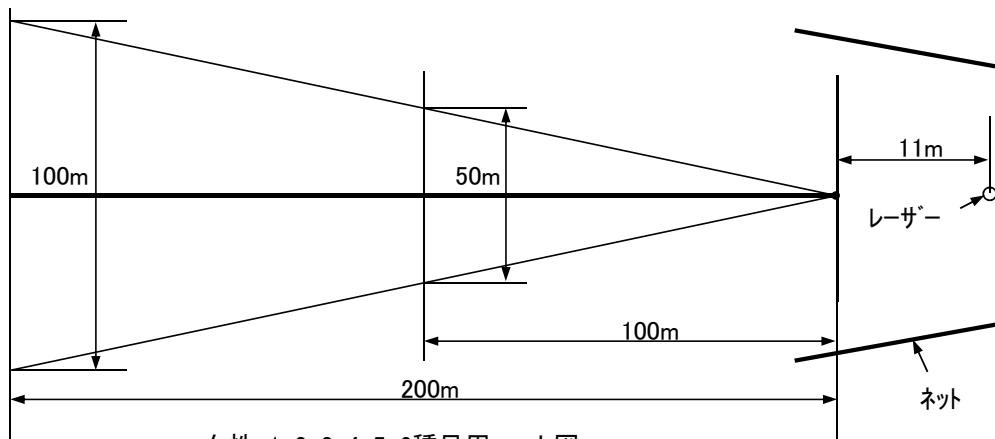
ただし地形の関係上、規格通りのコートが設定できない場合は、左右の幅を縮小することはできるが、長さの制限をしてはいけない。

コートは投擲エリアとフェアゾーンの境界線の中心点よりセンターラインとサイドラインをロープ又はテープを張る。

投擲位置より100メートルを起点としてセンターラインと直角に20メートルピッチで中央線上に距離数字入りの目印を置く。

安全第一を考え、投擲エリアの外側に半円状に安全ネットを張る。

キャスティングコート及びエリア寸法は下図参照



女性・1・2・3・4・5・6種目用コート図

## 2 競技種目および道具

種目	竿	リール	道糸	力糸	オモリ
女性種目	自由	スピニングリール	2号 (連盟指定)	3~16以上	25号 競技用ビーパー
第1種目	自由	両軸回転	7号 (連盟指定)	無し	30号 競技用ビーパー
第2種目	自由	両軸回転	3号 (連盟指定)	3~16以上	30号 競技用ビーパー
第3種目	自由	スピニングリール	5号 (連盟指定)	無し	15号 競技用ビーパー
第4種目	自由	スピニングリール	2号 (連盟指定)	3~16以上	15号 競技用ビーパー
第5種目	自由	スピニングリール	2号 (連盟指定)	3~16以上	25号 競技用ビーパー
第6種目	自由	スピニングリール	2号 (連盟指定)	3~16以上	25号 競技用ビーパー

## 3 投擲

第5種目投擲エリア内にオモリをおいて投擲するオモリの回転は360度以内とする。

投擲方法は着地投擲とする。

女性種目、第1種目、第2種目、第3種目、第4種目、第6種目は体を中心として360度以内で投擲する。ただし、着地投擲も可とする。

体を中心とし頭上でオモリを回転してはならない。

## 4 ファウル

第5種目投擲エリアの外にオモリを置いて投擲した場合

投擲したオモリが着地する前に境界線を越えてフェアゾーン地面に竿又は体が接触した場合

審判員の投擲良しの合図前に投擲した場合

投擲したオモリが規定の距離に達しない場合

投擲順番が来て審判の呼び出しに応答がない場合

#### 5 計測記録

計測はオモリが静止した地点でオモリの先端部を計測する  
計測はレーザー装置で行い、ミリ単位は切り捨てる  
審判、計測員は事故防止のため必ず安全帽を着用すること

#### 6 審判員

審判は競技者が投擲する時に技術的なアドバイスをしてはいけない  
危険と思われる投法又は行為がある場合は安全に競技が出来るように指導する

#### 7 失格

競技会場において次の行為があった物  
規則に反する行為をした者  
規則に基づく審判の指示に従わなかった者  
他の競技者の競技を故意に妨害した者  
競技会において5投中3投ファウルした者

#### 8 附則

第1種目、第3種目の道糸については、安全上の観点から道糸を結束しても良い物とする。  
結束はちから糸と同様の解釈であり、途中のライン継ぎ足しを認めるものではない。  
結束するラインは同号数、同色の指定糸のみとし他ラインを使用した場合は失格とする。

本連盟競技ルールは、2012年1月15日から施行する。